

Cisco IPICS Policy Engine

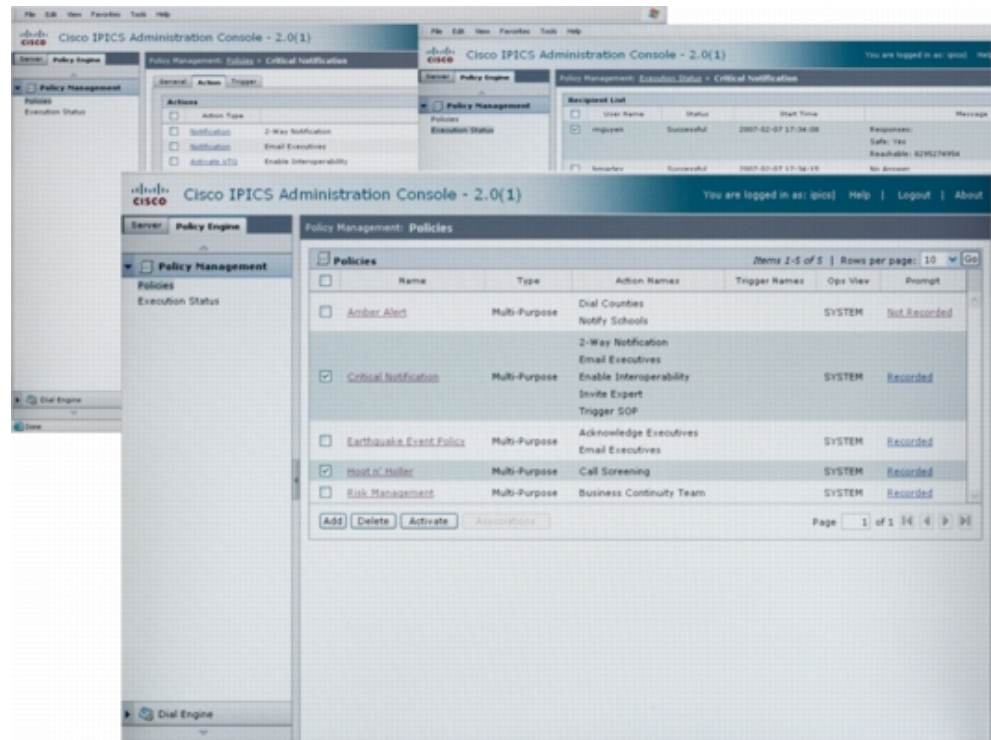
製品概要

Cisco® IPICS Policy Engine を使用すると、運用管理者は、トーク グループの確立やユーザ通知など、標準操作手順へのポリシーを作成して、1 回のクリックでそのポリシーを適用することができます。Cisco IPICS Policy Engine では、PSTN(公衆交換電話網)のダイヤルインとダイヤルアウトも実行できます。

Cisco IPICS Policy Engine の機能は次のとおりです。

- **ポリシー定義:**各機関は、直感的に操作できる Web ベースのインターフェイスを使用してポリシーを定義できます(図 1)。ポリシーには、通信が必要なグループ、通信のタイミング、および通信で使用するデバイスなど、標準操作手順が反映されます。たとえば、消防署では、住宅火災、危険物への対処、メタンフェタミン研究所の火災など、個別の状況に応じた個別のポリシーを定義できます(図 1)。ポリシーには個別に送信できる通知機能も含まれています。通知方法には、無線、携帯電話、PSTN 電話、Cisco Unified IP Phone、Cisco IPICS Push-to-Talk Management Center(PMC)クライアント、ポケットベル、E メール、Short Message Service (SMS)テキスト メッセージなどがあります(Simple Mail Transfer Protocol [SMTP; シンプルメール転送プロトコル] ゲートウェイが必要な通知方法もあります)。
- **ワンクリックによるポリシーの起動:**インシデントが発生すると、ディスパッチャまたは Cisco IPICS 管理者は、コマンド センター、別のビル、自宅などから Web ブラウザを使用してポリシーをアクティブ化します。Web にアクセスできないディスパッチャは、番号をダイヤルして、そのポリシーのコードを入力することで、電話からポリシーをアクティブ化できます。機関が訓練を行う場合などには、特定の時刻にポリシーを自動的にアクティブ化することもできます。ポリシーをアクティブ化すると、Cisco IPICS Policy Engine では次の処理が自動的に行われます。
 - 各参加者への通知
 - バーチャルトーク グループの設定:携帯電話または PSTN 電話にダイヤルインして認証コードを入力すると、ポリシーによって、リスニング専用モードで参加する参加者を決定できます。
- **通知追跡:**Cisco IPICS Policy Engine は通知ステータスを記録して、ディスパッチャが、ユーザの在席確認を行えるようにします。たとえば、在席している場合はキーパッドで「1」を入力し、不在の場合は「2」を入力します。リアルタイムの通知追跡により、インシデント担当者は外部からスタッフを追加する必要があるかどうかを判断できます。

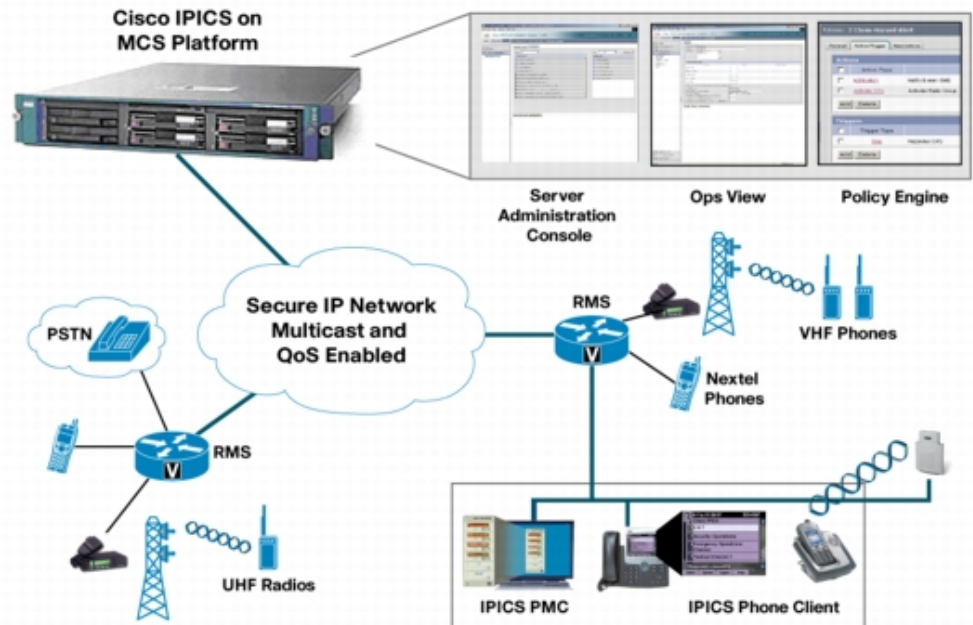
図 1 事前定義されたインシデント通信計画を 1 つのボタンでアクティブ化



Cisco IPICS Policy Engine は、厳しいセキュリティ要件を満たすように設計されています。ポリシー エンジンは、バーチャルトーク グループへの参加を発信者に許可する前に、その発信元がシステムに追加された電話番号であることを確認し、パスワードに基づいてユーザ認証を行います。特定の種類の危険物流出や伝染病の専門家など、単発的な参加者を一時継続させる必要性が生じる場合には、そのニーズに合わせて Cisco IPICS Policy Engine をカスタマイズできます。

Cisco IPICS Policy Engine は Cisco IPICS の重要なコンポーネントであり、メディアと情報を制御するインテリジェントなリソース管理ツールとなっています。Cisco IPICS のその他のコンポーネントには、Cisco IPICS Operational Views (OpsViews)、Cisco IPICS PMC、Land Mobile Radio (LMR) ゲートウェイ、Router Media Service (RMS)、および Cisco Unified IP Phone があります。図 2 に、Cisco IPICS アーキテクチャ内での Cisco IPICS Policy Engine の役割を示します。

図 2 Cisco IPICS コンポーネント



アプリケーション

無線の範囲外へのアクセスの拡張

PSTN 電話と携帯電話にダイヤルアウトする機能を使用すると、ディスパッチャは、非番のスタッフや国土安全保障省の各機関(FBI、麻薬取締局など)など、無線の範囲外にいるスタッフに接続することができます。

通知プロセスの自動化

Cisco IPICS Policy Engine は手動の通知プロセスを自動化します。手動の通知プロセスの場合、ディスパッチャはバインダまたはデータベースを参照して、該当する参加者を確認した後で、各参加者を順次呼び出す必要がありました。通知を自動化すると、対応チームを短時間で集めることができます。

インシデント応答ポリシーのリモートによるアクティブ化

許可されたディスパッチャまたはインシデント担当者は、通知やトーク グループの確立など、事前に確立されたポリシーを Web ブラウザまたは電話を通じてアクティブ化できます。

無線チャンネルが過負荷状態でも通知が可能

Cisco IPICS Policy Engine は、携帯電話、ポケットベル、E メールなど複数のチャンネルを使用してメッセージ配信を保証し、緊急時に無線チャンネルが過負荷状態になっても、第一応答者が重要なインシデントに関する詳細を共有できるようにします。

サイレント通知とメッセージの有効化

スタッフがサイレントで操作する必要がある場合、SMS テキスト メッセージングを使用してコマンドから通信を送受信し続けることができます。

IP ネットワークに接続されていない機関の参加

Emergency Medical Services (EMS; 緊急医療サービス) など、IP ネットワークに接続していない機関のスタッフは、PSTN 電話または携帯電話を使用してチャンネルに参加することができます。チャンネルの番号をダイヤルして、認証用のコードを入力するだけで参加が可能です。この機能により、インフラストラクチャが事前に設定されていない場合でも、複数の機関でのコラボレーションが可能となり、共同で作業にあたることができます。

機能および利点

Cisco IPICS Policy Engine の主な利点は、次のとおりです。

- **ポリシー管理および標準操作手順の準拠性の向上:** 許可された管理者、ディスパッチャ、またはオペレータは、接続された PC から、直感的に操作できる単一の Web インターフェイスを使用して、ポリシーの作成、変更、およびアクティブ化を行い、実行状態を確認できます。
- **手動の通知プロセスの自動化:** ボタンを 1 つクリックするだけで、運用管理者またはディスパッチャは、100 ユーザへの E メール送信、50 ユーザへのダイヤリングといった通知ポリシーを開始できます。
- **複数の機関におけるコラボレーションの促進:** ディスパッチャは、無線システム、IP フォン、Cisco IPICS PMC Client、携帯電話、および PSTN 電話を使用してスタッフに接続できます。
- **分散したコマンドと制御のサポート:** ディスパッチャは Web ブラウザまたは事前に許可された電話からポリシーをアクティブ化できます。
- **通知の迅速化:** 自動ダイヤル、E メール、SMS メッセージ、またはポケットベル通知 (すべて同時に開始可能) を使用して通知を実行できます。

表 1 に、その他の機能および利点を示します。

表 1 機能および利点

機能	利点
統合された Telephony User Interface (TUI)	スタッフは、PSTN 電話と携帯電話を使用してバーチャル トーク グループに参加することが可能
通知、バーチャルトークグループのアクティブ化、ダイヤルアウト、および参加者追加用の統合インターフェイス	操作を簡素化し、トレーニング実施の必要性を低減
バーチャルトークグループのリアルタイムの在席情報	Cisco IPICS Policy Engine および付属のダイヤル エンジン上のユーザ アクティビティに関する監査証跡を提供 (Cisco IPICS Administration Console からアクセス可能)
バーチャルトークグループ管理の制御機能	ダイヤルイン コール セッションの消音、消音解除、および終了によるバーチャル トーク グループの管理をディスパッチャまたはインシデント担当者が行えるようにすることで、より効率的な通信を実現
ユーザ通知の設定: デバイス、電話番号など	ユーザ通知の速度と効率性を向上
キュー内およびプール ベースでの重要通知の同時実行	通知の迅速化 (E メール、SMS、およびポケットベル ベースの通知には SMTP ゲートウェイが必要)
Session Initiation Protocol (SIP) のサポート	Cisco Unified CallManager や Cisco Unified CallManager Express など、SIP に準拠した現在および将来のネットワーク コンポーネントとの相互運用性を保証することで、投資を保護
PSTN ダイヤルインおよびダイヤルアウトで使用される、音声による名前確認	携帯電話または PSTN 電話でトーク グループに参加するスタッフに対し、認証コードの入力後に ID 確認を要求することで、セキュリティを向上
DTMF (Dual Tone MultiFrequency) ベースでのポリシーの起動	ディスパッチャは電話を使用して、事前定義されたポリシーを起動することが可能
カスタム スクリプトのサポート	Cisco Advanced Services または Cisco Advanced Technology Partners のサポートにより、カスタマイズされたセキュリティまたは通知要件を実現

製品仕様

表 2 Cisco IPICS Policy Engine の製品仕様

項目	仕様
製品の互換性	Linux オペレーティング システムと Cisco IPICS Server 2.0
ソフトウェアの互換性	Cisco IPICS 2.0(1)
プロトコル	SIP トランク、SMTP、および HTTPS
コンポーネント	E メール サブシステム ダイヤルエンジン サブシステム (SIP トランクが必要)
接続	IP 標準ベースのネットワーク上の Cisco IPICS 2.0(1) サーバを経由
パフォーマンス	Cisco IPICS 2.0(1) のパフォーマンスを参照
プログラミング インターフェイス	ポリシー エンジンとダイヤル エンジン用のカスタマイズ可能なインターフェイスは、選択したシステム インテグレータ、Cisco IPICS Technology Developer Program パートナー、および Cisco Advanced Services から入手可能

システム要件

Cisco IPICS Policy Engine は、Cisco IPICS 2.0(1) サーバのライセンス付きコンポーネントです。システム要件は、Cisco IPICS 2.0(1) サーバの場合と同じです。

発注情報

ポリシー エンジンを搭載した Cisco IPICS 2.0 は、シスコ製品およびサービスの発注サイトから発注できます。ソフトウェアをダウンロードするには、Cisco Software Center にアクセスしてください。表 3 に発注情報を示します。

表 3 発注情報

製品名	製品番号
Cisco IPICS Policy Manager for IPICS 2.0(1) と 4 本のダイヤル ライセンス (Cisco IPICS サーバで Policy Engine を有効化)	CIS-IPICS-PM1-K9
Cisco IPICS Policy Engine ダイヤル ポート	CIS-VIP-DIAL
Cisco IPICS Policy Engine ダイヤル ポート — 10 パック	CIS-VIP-DIAL-10
Cisco IPICS Policy Engine ダイヤル ポート — 50 パック	CIS-VIP-DIAL-50
Cisco IPICS Policy Manager Update、1 年間の登録サービス	CIS-PM1-SUB

サービスおよびサポート

シスコとそのパートナーは、シスコのライフサイクル サービスの考え方を活用して、お客様のネットワークのビジネス価値と投資回収率を高める幅広いエンドツーエンドのサービスとサポートを提供しています。このアプローチでは、最小限必要なアクティビティをテクノロジーおよびネットワークの複雑さに基づいて定義することで、シスコのテクノロジーを正常に展開および運用し、ネットワークのライフサイクル全体でパフォーマンスを最適化できます。

カスタマイズ、展開、トレーニング、およびサポートについては、シスコの代理店の Cisco Advanced Services または Cisco Advanced Technology Partners 担当者にお問い合わせください。

関連情報

Cisco IPICS 製品とソリューションの詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/ipics> を参照してください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0805R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-092-255 (通話料無料)

電話受付時間：平日10:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせ先